



2016 普及講演会

キョウリュウ 対 クビナガリュウ 恐竜 × 長頸竜

恐竜時代のむかわ町穂別 - 陸の生物・海の生物 -

恐竜：

「むかわ町穂別の
ハドロサウルス科の起源
を追い求めて in 2016」

小林快次

(北海道大学総合博物館・准教授)

2016 年夏の調査を紹介し、むかわ町穂別の
恐竜の重要性を説明します。

© 服部 雅人

長頸竜：

「むかわ町穂別のクビナガ
リュウ」

佐藤たまき

(東京学芸大学・准教授)

恐竜時代に海で栄えた様々な海生爬虫類
を紹介し、むかわ町穂別のクビナガリュウ
化石の魅力について説明します。

むかわ町穂別の恐竜時代（白亜紀）を代表する、
陸生生物（恐竜）と海生生物（クビナガリュウ）について、それぞれ専門の研究者が紹介します。

日程変更に
なりました

2016 年 12 月 3 日 (土) 13:30-16:30

道の駅むかわ四季の館 研修室 (入場無料)

(勇払郡むかわ町美幸 3 丁目 3 - 1)

主催：むかわ町穂別博物館 共催：むかわ町恐竜ワールド推進グループ

問い合わせ むかわ町穂別博物館 (☎ 0145-45-3141)

© 服部 雅人

はくあき

白亜紀末のアンモナイト パキディスカス・コバヤシイ *Pachydiscus kobayashii*



パキディスカス・コバヤシイ *Pachydiscus kobayashii* は 1980 年代までは、大阪和泉山地のおおさかいずみの和泉層群のみから産出することが知られていました(文献1)。穂別産標本は、北海道をはじめ大阪以外からはじめて産出した標本で、1990 年にむかわ町穂別キウス地区の道路拡張工事でパキディスカス・グラシリス *Pachydiscus gracilis* (博物館収蔵資料の紹介 14 ; ホッピーだより No. 371 で紹介) などと共に産出しました。大阪産の標本は 8 個体、穂別産の標本は 2 個体しか報告されていませので、産出の稀な種類といえます。

穂別産のパキディスカス・コバヤシイも限られた層準から産したことから、本種によって大阪と穂別の地層の時代対比ができるようになり、その地質時代が白亜紀末マーストリヒチアン期前期の後期であることが改めて明らかになりました(文献2)。

文献 1 Matsumoto, T. and Morozumi, Y., 1980: Late Cretaceous ammonites from the Izumi mountains, Southwest Japan. *Bulletin of the Osaka Museum of Natural History*, No. 33, pp. 1-33, pls. 1-16.

文献 2 Matsumoto, T. and Toshimitsu, S., 1992. On a leading ammonite species *Pachydiscus kobayashii* from the Hobetsu district, Hokkaido. *Bulletin of the Hobetsu Museum*, No. 8, pp. 1-16.

学芸員 西村智弘

むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30~17:00 (最終入館 16:30)

観覧料 個人 / 小 ~ 高校生: 100 円

大人 300 円

団体 / 小 ~ 高校生: 50 円

大人 200 円

※団体は 10 人以上 ※小学生未満は無料



苫小牧から約 1 時間半

札幌から千歳経由で約 2 時間

道東道むかわ穂別 IC より約 20 分

2016 年 10 月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2016 年 11 月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

休館日 ○ 町民無料観覧日